

都市再生整備計画 事後評価シート
長崎市東部地区（第3期）

令和5年3月

長崎県長崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

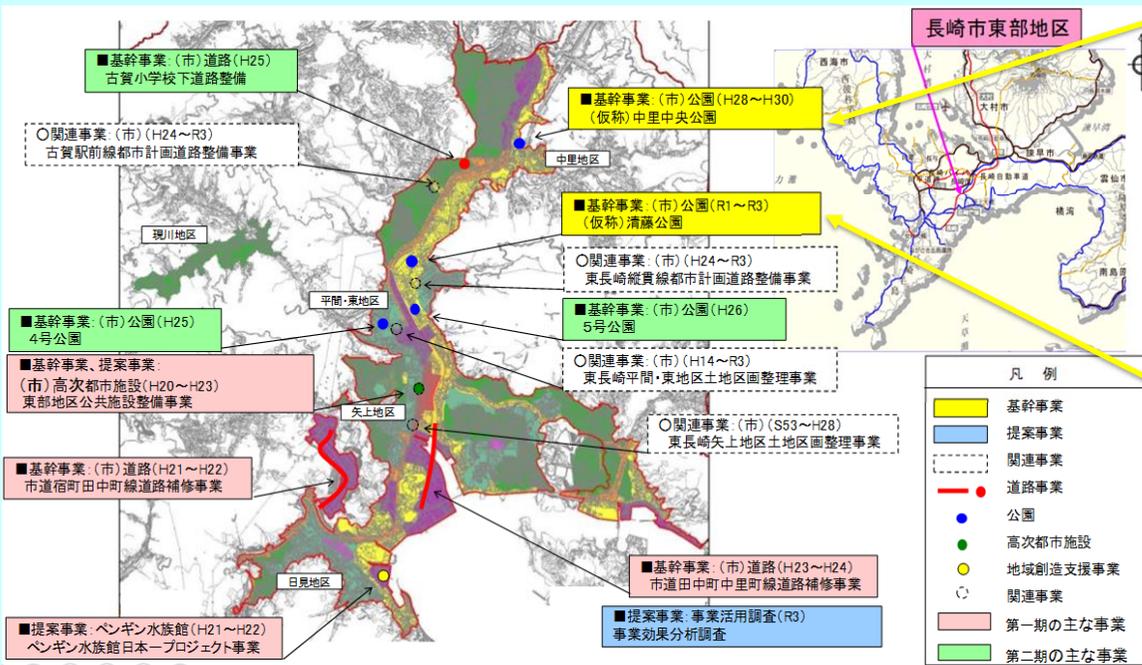
都道府県名	長崎県		市町村名	長崎市		地区名	長崎市東部地区			面積	893.7ha		
交付期間	平成28年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	307.0百万円	国費率	0.425				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園:(仮称)中里中央公園の整備、(仮称)清藤公園の整備										
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし				-		-				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				-		-				
		提案事業	なし				-		-				
	交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
変更		平成28年度～令和3年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	すみやすいと感じる人の割合	%	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	79.3	H26	80.5	R3	-	78.5	△	あり	今回の都市再生整備計画 長崎市東部地区(第三期)においては、(仮称)中里中央公園及び(仮称)清藤公園の整備を行っており、第一期では東部地区にここにセンターの整備、第二期では生活道路の改修、公園整備を行っている。また現在、関連事業として平間・東地区土地区画整理事業による都市基盤施設の整備や東長崎縦貫線都市計画道路整備事業も行っているところである。これらの事業により、公園や新規道路の整備などを行ったことで地域の利便性及び安全性が向上し、住民から喜びの声が挙がっている。一方で東部地区の幹線道路である東長崎縦貫線については、終点部分及び中間部分における国道34号との接道に至っていないことで、交通の利便性に関して、現時点で十分な満足が得られなかったことなどの要因により、数値目標が達成されなかったものと考えられる。	R5年7月			
指標2	防災・安全面が向上したと感じる人の割合	%	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
65.1	H26	72.6	R3	-	55.9	△	あり	土地区画整理事業の進展や生活道路、公園等の整備により、地域の防災性、安全性は大きく向上したが、近年の異常気象により全国的に激甚化する大雨や台風による被害が増加したことや令和3年3月に八郎川の洪水浸水想定区域が指定され、住民の防災に対する意識が高まったことにより相対的に評価値が下がり数値目標が達成されなかったと考えられる。令和5年開園予定の(仮称)清藤公園は災害時や緊急時に必要となるオープンスペースの確保を行っており、防災・安全面の向上に関する数値目標が今後高まることが見込まれる。	R5年7月				
										なし			

	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	整備箇所周辺の住民を対 象とした「すみやすいと感 じる人の割合」	%	—	—	80.5	R3	—	81.5	○	—	指標1のとおり長崎市東部地区としては目 標値に届かなかったが、本事業で整備を 行った周辺については、公園や道路の整備 などを行ったことで、地域の利便性及び安 全性が向上したことにより数値目標が達成 されたと考えられる。	R5年10月
	その他の 数値指標2	整備箇所周辺の住民を対 象とした「防災・安全面が 向上したと感じる人の割 合」	%	—	—	72.6	R3	—	60.2	△	○	指標2の効果発現要因と同じ	R5年10月
4)定性的な効果 発現状況	<p>事業の満足度について住民にアンケート調査を実施した。</p> <p>(仮称)清藤公園については、「遊具、植栽、トイレ、駐車場が整備されていていい公園であると思う。」という意見が出された。</p> <p>(仮称)中里中央公園については、下記のような意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山に囲まれて静かなのが良い。 ・景観が良くなった。 ・グランドゴルフや自治会の行事などに利用できる十分な広さがある。 ・『弱虫ペダル』のマンホールがあり、自転車でもいけるのが良い。 ・近くの保育園からの利用がある。 ・駐車場があり利用しやすい。 ・きれいな公園で良い。 ・土日に周辺の町から多くの家族連れが来てにぎわっている。 ・周辺に走り回れる場所が少ないので子供たちにとって良い場所になっている。 ・子供たちを遊ばせる場所が増えて大変うれしい。 ・公園ができたおかげで子供たちとのふれあう場所や時間が生まれ非常に明るい活気のある街に変化している。 ・自治会の加入世帯が多い中里地区に公園ができ、多くの年代層が利用できる公園ができてよかった。 ・健康維持のため夫婦で利用している。展望広場の階段を上がり、スロープで降りることで膝に負担をかけることなく運動ができる。 ・展望広場でランチ等ができる。 												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				—		
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				—		
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	官民連携による 取組	公園建設計画及び公園の活用方法における地元自治会との協 議					都市再生整備計画に記載し、実施できた				—		
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
持続的なまちづくり 体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				—			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				—			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			

様式2-2 地区の概要

長崎市東部地区（長崎県長崎市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
○長崎市の東部市街地圏域の拠点として、暮らしやすいコンパクトな市街地を形成する。 ・安全快適なまちづくり ・都市活力の維持・増進を図るまちづくり	すみやすいと感じる人の割合	79.3	H26	80.5 R3	78.5 R3
	防災・安全面が向上したと感じる人の割合	65.1	H26	72.6 R3	55.9 R3
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



■(仮称)中里中央公園



■(仮称)清藤公園



まちの課題の変化	<p>・当地区は、本市東部の歴史的・文化的・経済的活動の拠点であるにもかかわらず、道路や公園等、都市の基盤となる公共施設が不足している。このため、土地区画整理事業により事業区域内の整備を行うとともに、土地区画整理事業の区域外についても同様に道路や公園等の都市基盤施設の整備が必要となっている。</p> <p>・今後は、広域交通ネットワークの充実を図る東長崎縦貫線の整備のほか高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが暮らしやすく、防災性や耐震性に優れ、さらに東部地区の地域特性である歴史や文化、景観等を活かすための機能的で魅力ある生活道路や公園整備など環境に配慮した安心・安全なまちづくりを進めることが求められている。</p>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<p>【整備された都市基盤施設の維持・管理や利活用】整備された道路や公園の維持・管理を図り、快適な居住環境の維持を図る。また、本事業で整備した(仮称)中里中央公園はこのほりまつりなど地域の住民により積極的に利用されているところであるが、東長崎地区内の住民であっても開園したばかりの公園のことを知らないという声があったため広報等を活用し公園の周知を図る。</p> <p>【都市基盤整備による生活環境の向上】東長崎縦貫線等の都市基盤整備事業の整備の促進を図るとともに、円滑な交通を促進する生活道路等や憩いの空間となる公園等を整備し、快適な居住環境の形成を図る。</p> <p>【地区内のさらなる防災機能の向上】災害時・緊急時の防災及び救急活動に必要な広域交通ネットワークの充実や生活道路等の整備、公園等のオープンスペースの確保により、防災性・安全性の向上を図る。また、整備した公園をハザードマップへ追加し、周辺住民に周知を図ることで地域の防災性を向上させる。</p>